



菜の花祭り

揚げたての特製コロッケが好評 4/11

旭市で開催された「菜の花祭り」に、今年は「回転木馬」が参加しました。旭市、JA旭、生活クラブ生協の三者で、循環型農業を生産者と消費者が共につくっていくという趣旨のもと、実行委員会制で開催され、今回がその4回目。

抜けるような青空の下、菜の花の黄色い絨毯が広がる公園の一角で、米澤製油の「なたね油」を使って回転木馬特製のコロッケを揚げ始めました。おいしいにおいにつられて、ひとつふたつと売れ始め、「今日のお昼にあと5個ね」「これは、油臭くないわ」と好評で、130個のコロッケと天然酵母手作りパン50個を売り切ることができました。



揚げたてコロッケ

「回転木馬」の

せつけんの街・醤油のタイヘイ(株)・新生酪農・米澤製油の各生産者、生活クラブ生協、地域の人たち100人以上の参加があり、消費材の良さやリサイクルのこと、食糧の国内自給などと話が広がり、交流を深めました。 回転木馬 重 純子

米の生産者を招いて交流会 生活クラブ生協柏センター 4/22

共同購買事業部の企画で、山形の米の生産者、余目農産加工(有)の国井一典さんと、生活クラブ・スピリッツ(株)の岡田良一さんをお招きして、交流会を開きました。

昨年、共同購入している米に一部食味不良があり、クレームが出たことから、その原因や経過、今後の対策などについて

てお話を伺いました。原因は、出穂時期(8月)に、集中豪雨による川の氾濫で一部の田んぼが肥料過多となり、食味不良が発生したものと考えられます。

生産者は顔が見えるブランド米にこだわり、大量の米を混合して出荷するライスセンターを導入せず、精米から袋詰めに至るまで、農地と生産者の識別表示を行っており、そのことが結果として今回の原因究明につながりました。

「25年、米農家をやっている、こんなことは初めての経験です」と国井さん。生



資料や画像を見ながら、国井さんと岡田さんの説明を聞く



「あい物産」のオードブルを楽しみながら交流

活クラブ生協のブランド米を守っていくという生産者の想いに応じて、これからも利用し続けていこうと確認し合いました。 ういず 北田恵子

運営委員会報告

★接客、クレーム対応、組織内のコミュニケーションなどについての会員研修を、6月10日(水)千葉センター3Fで開催予定

★起業講座を開催
下総ブロック 5月25日(月)
回転木馬ガイアスペース 「基礎講座入門」
京葉ブロック 5月25日(月)千葉センター
6月3日(水)ベイセンター
「配送事業についての起業講座」

★ワーカーズ・コレクティブガイドブック2009(W.Co千葉県連合会)を5月22日発行

新人ワーカーズ 「紙ふうせん」の新人研修に参加して 4/20

私は昨年11月に3カ月の試用期間を経て、紙ふうせんのメンバーになりました。

紙ふうせんの駐車場は息子が通う「こだま学園」の送迎バスの乗車場です。息子を送った後、店内で買い物をするうちに、いつかこの場所で働きたいと思うようになりました。昨年からはメンバーになった仲間5人がワーカーズ・コレクティブについて、働き方や就業規則など、2時間ほど研修を受けました。終了後も、「紙ふうせん」の事業・経営のことで思いついたことなどを話し合いました。

前の職場はレトルトと輸入品の食材ばかりでした。国産や手づくりこだわった家庭的な雰囲気の中で、楽しく働いていきたいと思えます。 紙ふうせん 野本みどり

わく わ〜くちば work

NPOワーカーズコレクティブ千葉県連合会

No. 81
2009. 5



組合員と消費材をつなぐパイプ役 「企」ワーカーズ・コレクティブ みらい

生活クラブ生協千葉では、今後2〜3年かけて、共同購入や牛乳の配送をワーカーズ・コレクティブに移行する計画です。今年3月、松戸センターで(企)W.Coみらいが配送事業をスタートしました。メンバー9人ががんばっています。



消費材の積み込み作業

生活クラブ生協松戸北支部の運営委員会で、リーダーから、「ワーカーズの起業講座がありますので興味のある方はご参加ください」の呼びかけに、どんな講座だろうかと興味を持ち参加したのが最初の出会いでした。

自主性とチームワークの形成へ

起業講座を受講した時には、まだ配送業務に携わるという意識はなく、ただただ受身のまま話を聞いていました。この後、松戸センターで配送業務の内容についての説明を受け、数回の話し合いが持たれ、この事業を立ち上げていこうという意思を表明した4人により、準備会が結成されました。

さあ、設立趣意書を作って…
果たして私たちにどんなミッションがあるの?…

というレベルからの始まりです。

次は名前? ロゴ? 定款?…

次から次へ、決めていかななくてはなりません。この頃の私たちには、すべて自分たちで決め、実行していかなければ前には進

まないという意識がまだまだ未熟でした。そんな状態ではありましたが、話し合いを持つごとに自主性や仲間としてのチームワークが図れるようになり、「みらい」という名前やロゴの決定、定款の作成へと進んでいきました。

「みらい」という名前には、私たち個人の未来、生活クラブ生協の未来、この事業所の未来、味覚の味蕾、食の未来、そしてあなたの未来といういろいろな意味を込め、ひらがなで「みらい」としました。

企業組合という法人格の許認可申請のため、暮れも押し迫った08年12月26日に横浜の関東運輸局にヒアリングに向き、09年1月14日企業組合としての創立総会を開催。2月5日に晴れて登記が済み、貨物軽自動車運送業として配

送事業所として、スタートしました。

そして今度は、ワーカーズ・コレクティブとしての設立総会です。私たちメンバーは、企業組合の創立総会と、ワーカーズ・コレクティブの総会が同時にできなかったことで、運営的に反省しなければならないこともありました。しかし、多くの方の支援や励ましにより、開催できたことに感謝しています。気を引き締めて、「みらい」という新しい事業を運営していくことへの責任を感じました。

実務研修を重ねて、いよいよ配送スタート

事業開始までは、「わーかーず・あい」や松戸センターの職員のトラックで添乗研修。軽トラックが納車されてからは、コースの確認を兼ねた試運転と、メンバーは着々と実務研修を重ねてきました。



点検OK。さあ、出発!

3月23日、いよいよ配送開始です。積み込み漏れや誤配がないか、その都度確認します。伝票と格闘しながら検品し、松戸センター職員から大きな支援を受け、第一歩を踏み出した「みらい」です。

配達先の組合員からの「御苦労さま」「ありがとう」の言葉に励まされ、元気に楽しく働ける場になっていけたらと思います。

出資、経営、労働と主体性をもった働き方を、メンバー全員が認識することで、地域社会にどのように貢献し、どのような役割を担っていくかなど、希望を膨らませていける存在になっていきたいものです。

(企)W.Coみらい 熊澤聡子

*ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)とは…
同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす